

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法Ⅱ Community Development Ⅱ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士受験資格指定科目)	特記なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
2年次前期までの必修科目の修得				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特記なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館2階	火・水・木・金曜日の9:00~17:00		授業中に指示します
授業の概要				
本科目では、地域福祉の理論と方法Ⅰ（前期科目）をもとに、地域福祉に係る法や制度・地域福祉計画、関連機関や団体、専門機関や担い手等について学習する。また、居住地域の福祉活動を調べ、他地域との同異点から地域特性を把握することの重要性を学ぶ。				
授業の目標				
①地域福祉に関わる法や制度を理解し、地域福祉計画の重要性を説明できるようにする。 ②社会資源の種類と活動内容を説明できるようにする。 ③地域福祉活動の方法を説明できるようにする。 ④居住地域の福祉活動を把握し、地域特性を習得できるようにする。				
授業の方法				
講義中心であるが、資料や視聴覚教材、個人ワーク等も取り入れる。グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。またほぼ毎回の授業において小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。				
学習の成果（学習成果）				
地域福祉について地域福祉計画をもとに、地域特性に応じた活動について分析することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって） 家族介護の問題点 小テスト			
第2回目	専門職の役割（社会福祉士、介護支援専門員、地域福祉コーディネーター等）と法律 小テスト			
第3回目	ケアマネジメントの仕組みと活動 小テスト			
第4回目	在宅サービスと施設サービス 小テスト			
第5回目	予防のためのサービスと活動 小テスト			
第6回目	ソーシャルサポートネットワーク 小テスト			

第7回目	権利擁護のためのサービス活動 小テスト
第8回目	インフォーマルサービスと当事者活動 小テスト
第9回目	地域福祉と環境改善サービス 小テスト
第10回目	地域福祉とNPO活動 小テスト
第11回目	当事者団体・セルフヘルプグループ・ボランティアコーディネート 小テスト
第12回目	住民参加型在宅福祉サービス 小テスト
第13回目	福祉教育 小テスト
第14回目	社会福祉協議会 小テスト
第15回目	まとめ（地域福祉に関する法制度や諸機関を踏まえて地域福祉計画概観する）

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	16%	まとめとして、地域福祉に関する法制度や諸機関を踏まえて地域福祉計画概観するレポートを出します。16%
調査報告書		
小テスト	84%	1～14回は、知識の定着を図る穴埋め問題（15問程度）を出します。6%×14回=84%
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ 「よくわかる地域福祉第5版」 ミネルヴァ書房

履修上の留意点・ルール

テレビのニュースや新聞記事等から、日常生活における社会問題に関心をもってほしい。社会福祉士としての視点から地域福祉を捉えてほしい。